



コロナ対策、もう少し頑張りましょう

会長 奥住 方彦

令和3年も半年が過ぎました。早いですね。新型コロナウイルスの感染が始まってからは、およそ1年半になります。昨年の3月から約2か月間の休校となり、三密を避け、マスクを着用する等の、今までとは違った生活を余儀なくされました。学校行事も多くで中止、変更、あるいは規模縮小する等、本当に大変だったと思います。

ある好きな映画のセリフの中で、「難しい数学を覚えても、大人になったら忘れて生活している。」という疑問に対して、「無駄な努力も人生の内。」との答えがありました。人生には、いろいろなことがあります。無駄な努力と思っているものも、その時は必要だから行っているものであり、後になって人生に大きな影響を与えるものも多くあると思います。人生山あり谷ありですから、その時を一生懸命生きていくしかありません。今、ワクチン接種も順調に進んでいるため、集団免疫を獲得するまでもう少しだと思います。その時が来るまでは、感染対策をしっかりと頑張りましょう。

》》》 各部からの活動報告 《《《

【安全・安心部】

まだまだコロナが落ち着かない中、新1年生67名を含む全校児童366名で、東光寺小学校の令和3年度がスタートしました。(現在は1年生68名、全校児童369名です。)

コロナ禍で学校行事が思うように進まず、緊急事態宣言も発令されて国民全員が我慢を強いられる生活が長い間続いており、仕事や生活が今までとは様変わりをし、ずいぶんのご苦労をされている方々も多いと存じます。

そんな中でも、東光寺小学校の子供たちは、変わることなく笑顔で毎日元気に登下校をしてくれています。子供たちが元気に、笑顔で日々通える環境を整えている教職員の皆様のご苦労とご努力に改めて感謝申し上げます。

子供のパワーは疲れを知らず、子供からもらうパワーは無限大です。この素敵な子供たちや、子供たちを見守る地域で事件や事故が起きないことを切に願うばかりです。

1年生には、4月の交通安全教室で正しい横断歩道の渡り方を指導いたしました。4月には横断歩道を渡る時、天に向かい、力強く拳がっていた手が、最近は肘が曲がったり、手が水平や斜め下に下がったりしている子が増えてきました。

実は、歩行者が関連する人身事故の8割近くが横断歩道上での事故です。ドライバーからは見えづらい、まだ小さな体です。地域の皆様も、かわいい小さな1年生や東光寺小学校の児童を交通事故から守るためにも、正しく手を挙げ、正しく横断歩道を渡るよう、温かくご指導をお願いいたします。

さて、6月8日で大阪教育大学附属池田小学校の痛ましい事件から20年が経ちました。日本の犯罪史の中でも絶対に忘れてはいけない事件。刃物を持ち、校内に侵入した男に児童8名の尊い命が奪われてしまった事件です。

先日も、市内の小学校に部外者が侵入するという事件が起きており、また、小中学校の児童、生徒に声を掛ける不審者情報も連日のように入っております。一見、平和に見える地域でも、虎視眈々と子供をねらう不審者が入り込んでいるのです。絶対に安全とは言い切れない現在、いつ自分の身の回りで犯罪が起こるやもしれません。

私たち安全・安心部も、パトロール隊の皆様やPTAの方々の協力を得ながら校舎内外や学校周辺のパトロールを日々行い、子供たち、そして地域の安全・安心を守っています。そして、安全・安心部やパトロール隊、PTAの方々だけではカバーしきれない区域も、地域の皆様一人一人の目が、犯罪への大きな抑止力となっているのです。

どうかこれからも、学校の安全、地域の安全、情報の提供や共有等、皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

(平柳 篤)



【 学習部 】

学校運営協議会委員をさせていただいても、最近は学校へ伺う機会が減りました。そのため、外からでも学校の様子を見たいと思い、時々、東光寺小学校とその周辺を見て回ることにしています。

5月はじめのよく晴れた日に、東光寺小学校の校庭が上から見える場所に行くと、高学年の体育の授業の最中でした。子供たちは、楽しそうに芝生の上でストレッチのような体操をしていました。昨年からは、どの学校もマスクを着けたり外したりしながらの体育なのでしょうが、着けた方がよいのか、しない方がよいのか、子供たちの体に及ぼす影響等を考えて、判断がとても難しいと思います。体操を行っていたのが緑色の芝生の上だったため、少しでも快適だとよいと思いながら見ておりました。

東光寺小学校は緑に囲まれ、芝生がある校庭で、他校より恵まれた環境だと思いますが、それでも今後の暑さが、やはり心配になります。まだまだマスクは必需品です。水分補給等の熱中症対策を十分にしながら、2年目のマスクの夏を乗り切りたいと思います。

(正井 和美)

【 環境部 】

校庭の芝生をまじまじと見ると、所々、雑草が芝生に勝っており、雑草の威力を感じます。雑草との闘いは、毎年の恒例となっており、夏芝を青々と茂らせるためにも、この雑草を除去していかなければなりません。

今年の雑草との戦いは、すでに始まっています。芝生管理に携わるみなさまと、人の力でできる範囲での雑草取りを、地味ですが、今年もさせていただきます。

みなさまのご協力をお願い致します。

(久松 秀樹)



学校運営協議会新委員 自己紹介

さかえまち児童館館長 佐々木 哲

「いつだって子どもの味方！みんながつながる児童館～」のキャッチフレーズを展開している日野市立さかえまち児童館館長の佐々木 哲と申します。この度、東光寺小学校学校運営協議会の委員に選任していただき、ありがとうございました。

東光寺小学校の地域は以前から大変お世話になっており、大好きな地域です。「東光寺小はカラスの鳴き声すら優しく感じる。」と学童クラブの先輩職員に言われて、期待しながら東光寺小学童クラブに着任したのは、今から10数年以上も前のことです。学童クラブ職員として4年間ほど勤務し、東光寺小の子供たちがとてもとてもかわいく、楽しかった思い出があります。正門の素晴らしい桜が咲く頃、学校近くのカタクリの群生で、カタクリの花がひっそりと咲くのも楽しみでした。

さかえまち児童館には毎日、東光寺小学校のお子さんが元気に遊びにきてくれます。「いらっしやい、いらっしやい、君たちが来るのを待っていたよ！」と声を掛けています。市役所で勤務後の現場復帰で、子供がいる職場で働ける幸せを感じ、また、この地域の子供たちのかわいさに目じりが下がりはなしの日々です。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

